

白銅株式会社(7637)

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

2026年8月7日

目次

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 2027年3月期第1四半期 決算内容 | P.2 |
| 2. 2027年3月期 業績予想 | P.16 |
| 3. 重点戦略の実施状況 | P.19 |

1. 2027年3月期第1四半期 決算内容

決算ハイライト（１）

売上高

21,934百万円
(前年同四半期比+28.6%)

売上総利益

3,599百万円
(前年同四半期比+51.6%)

経常利益

1,476百万円
(前年同四半期比+210.7%)

2027年3月期第1四半期サマリ

<売上高>

- 前年同四半期比で28.6%増加して219億3千4百万円となり、四半期で過去最高を達成
 - ・ 生成AI向け半導体の世界的な需要拡大を受け、半導体製造装置業界向けの需要が改善し、標準在庫品・特注品の販売量が大幅に増加
 - ・ アルミニウムおよびステンレスの薄板の販売強化や半導体業界に特化した販売組織の設立により、顧客基盤が拡大
 - ・ 新規市場の開拓および代理店販売網の強化等による海外セグメント売上高の増加
 - ・ 原材料市況の上昇による商品単価の上昇

決算ハイライト（２）

<売上総利益>

■ 前年同四半期比51.6%の35億9千9百万円となった

- ・ 半導体製造装置業界向けを中心に販売量が増加し、粗利益率が高い標準在庫品の販売量も増加
- ・ 前連結会計年度に実施した小口注文の価格改定による利益率改善が継続
- ・ 原材料価格の上昇による棚卸資産影響額差益の増加

<経常利益>

■ 前年同四半期比210.7%増益の14億7千6百万円となり、四半期としては過去最高を更新

- ・ 売上総利益の増加率（51.7%）に比べ販売管理費の増加率（11.7%）を低く抑えられた事により、経常利益が前年同四半期比で大幅に増加

連結損益計算書（PL）サマリ

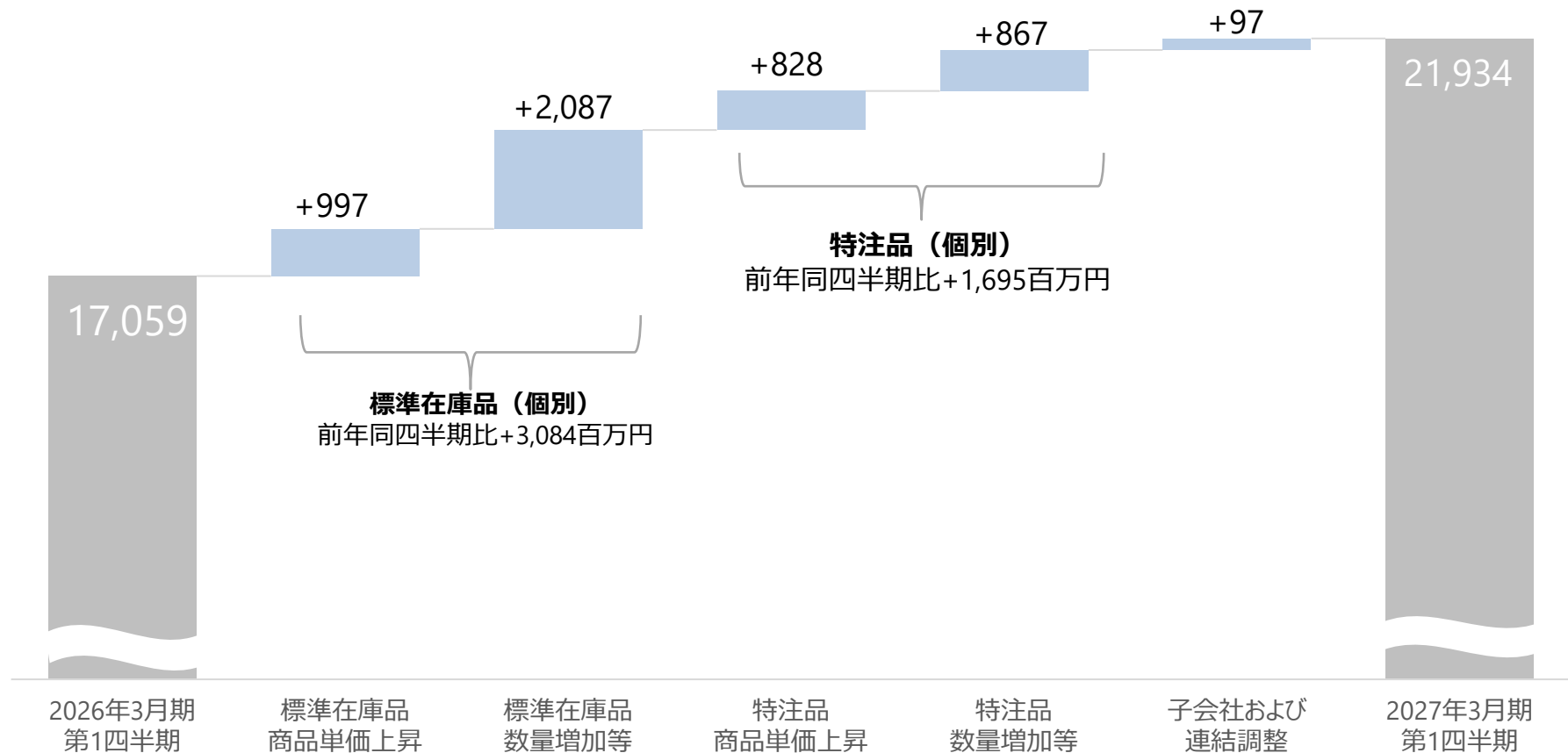
（単位：百万円）

	2026年3月期 第1四半期	売上高 比率	2027年3月期 第1四半期	売上高 比率	増減率	増減額
売上高	17,059	-	21,934	-	+28.6%	+4,875
標準在庫品	9,521	55.8%	12,614	57.5%	+32.5%	+3,092
特注品	7,537	44.2%	9,320	42.5%	+23.7%	+1,783
売上総利益	2,373	13.9%	3,599	16.4%	+51.6%	+1,225
営業利益	385	2.3%	1,378	6.3%	+257.7%	+993
経常利益	475	2.8%	1,476	6.7%	+210.7%	+1,001
棚卸資産影響額 (△は損)	107	0.6%	352	1.6%	+228.0%	+245
経常利益 (棚卸資産影響額を除く)	367	2.2%	1,123	5.1%	+205.7%	+755
親会社株主に帰属する 四半期純利益	290	1.7%	1,017	4.6%	+250.1%	+726

売上高の前年同四半期比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品と特注品の販売量増加および商品単価の上昇により、前年同四半期比4,875百万円の増収。

(単位：百万円)



前年同四半期比 白銅個別標準在庫品 販売重量：+21.6% 商品単価：+8.6%

品種別売上高

- 半導体製造装置業界の需要回復、商品単価の上昇により、すべての品種の売上高が増加。

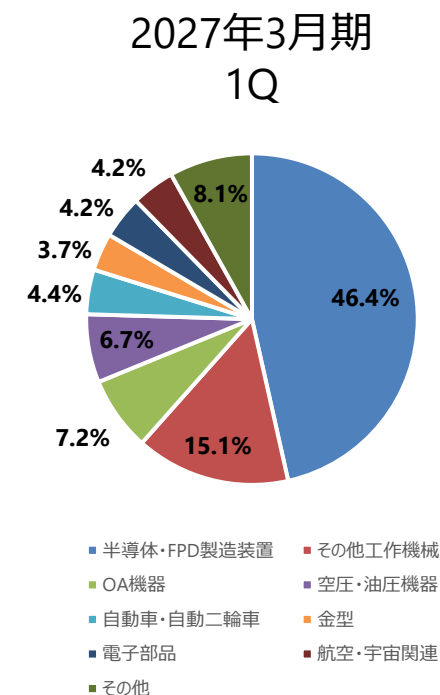
(単位：百万円)

	2026年 3月期				2027年 3月期 1Q	前年 1Q期間比
	1Q	2Q	3Q	4Q		
連結売上高	17,059	15,640	16,981	18,428	21,934	+28.6%
アルミニウム	10,455	9,514	10,304	11,559	13,662	+30.7%
伸銅	2,345	2,302	2,602	3,010	3,548	+51.3%
ステンレス	3,317	2,975	3,158	3,082	3,690	+11.2%
その他	939	848	915	776	1,032	+9.9%

業界別売上高構成比率（国内）

- 半導体・FPD製造装置業界は2026年3月期3Q以降増加傾向。
- 航空・宇宙関連業界は売上高構成比率は減少したものの、官需向けを中心に好調に推移し、売上高は増加。

		2026年3月期					2027年 3月期
		1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q
半導体・FPD 製造装置		36.9%	38.2%	39.6%	43.5%	39.7%	46.4%
その他工作機械		15.9%	15.5%	15.3%	15.2%	15.5%	15.1%
OA機器		9.8%	9.8%	8.5%	8.5%	9.1%	7.2%
空圧・油圧機器		6.4%	6.3%	7.0%	5.9%	6.4%	6.7%
自動車・自動二輪車		5.5%	4.9%	5.0%	4.7%	5.0%	4.4%
金型		5.4%	5.1%	5.3%	4.3%	5.0%	3.7%
電子部品		4.1%	4.0%	4.2%	4.0%	4.0%	4.2%
航空・宇宙関連		6.2%	5.7%	5.0%	4.8%	5.4%	4.2%
その他		9.8%	10.5%	10.1%	9.1%	9.9%	8.1%



セグメント別業績

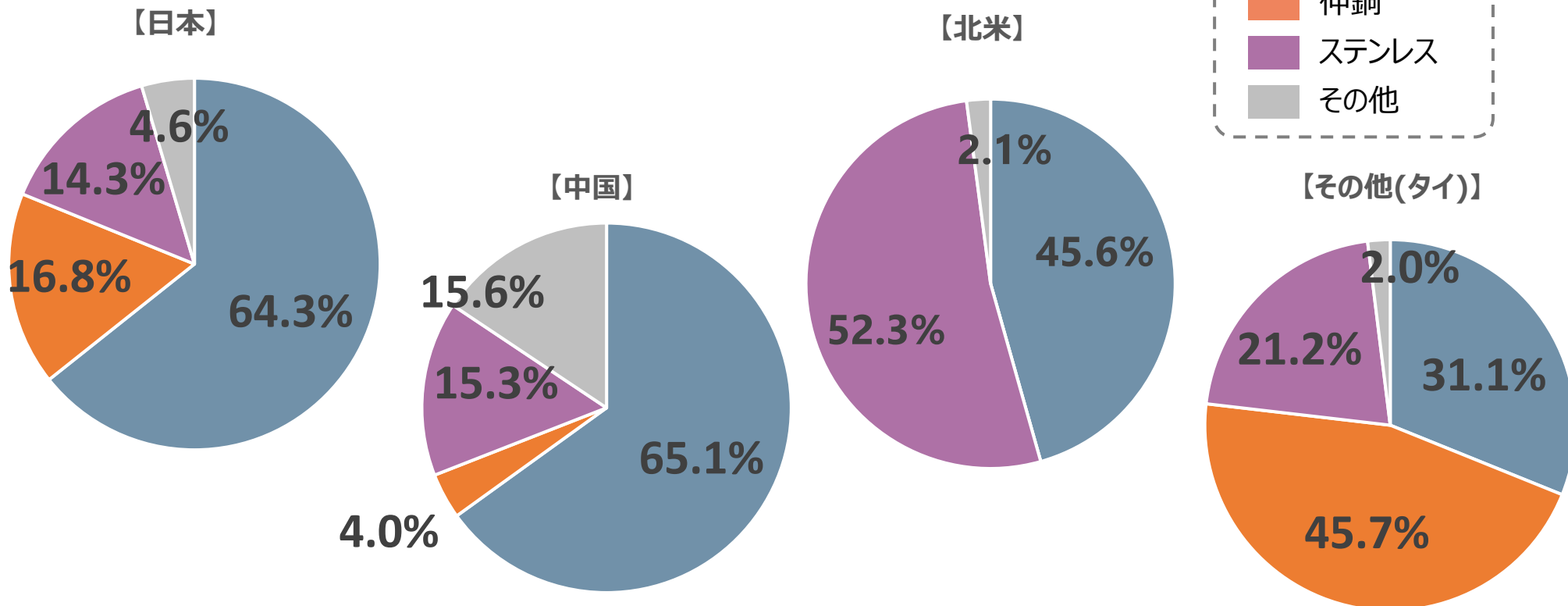
- ・ 北米では、販売戦略の見直しによる利益率の改善により、黒字に転換。
- ・ 中国は、半導体製造装置関連業界の需要の増加により、売上高および利益が増加。
- ・ その他セグメント（タイ）はデータセンター・半導体製造装置の需要増加等により、売上高、経常利益が前年同四半期比で増加。

（単位：百万円）

セグメント		2026年 3月期 第1四半期				2027年 3月期 第1四半期			
		売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に 帰属する 四半期純損益	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
	日本	14,604	388	532	358	19,321	1,213	1,270	840
	北米	1,611	△51	△109	△109	1,358	51	82	81
	中国	423	0	4	3	667	54	63	47
	その他	418	47	47	38	587	59	59	47

2027年3月期 第1四半期 セグメント別 品種売上高比率

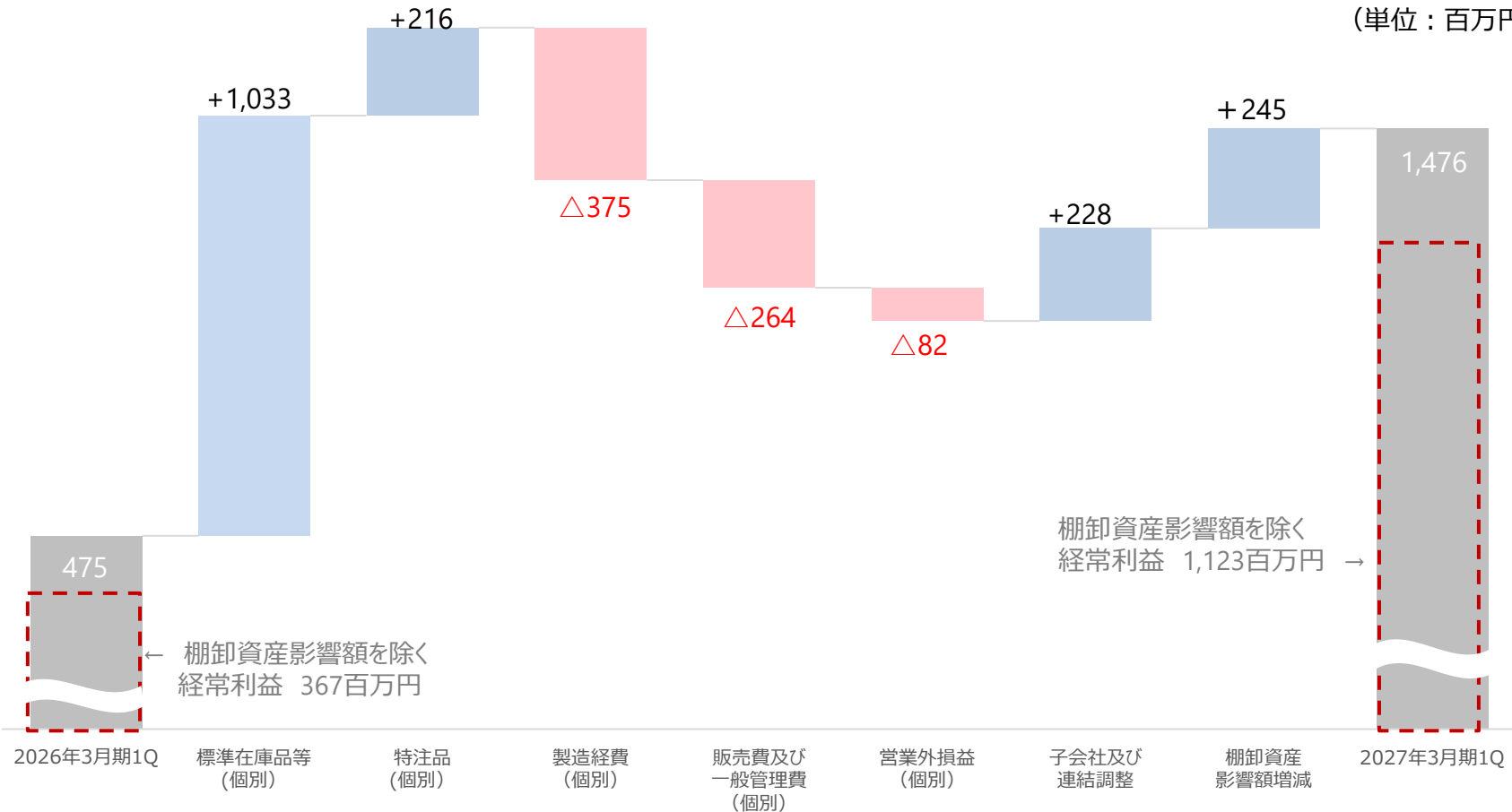
- 【日本】半導体製造装置業界向けの販売比率が大きい影響でアルミニウムが大きな比率を占める。なお、伸銅・ステンレスの売上高比率が同等となっている。
- 【北米】住宅建設関係をメインの販売業界としているため、ステンレスの比率が大きい。
- 【中国】半導体製造装置業界向けの販売がメインとなるため、アルミニウム比率が高い。一方で、金型・自動車業界向けの特殊鋼含むその他品種の比率が大きくなっている。
- 【その他(タイ)】金型・自動車業界向けの伸銅が大きな比率を占めている。



経常利益の前年同四半期比差異要因

- 白銅個別の標準在庫品販売数量が大幅に増加したことにより経常利益は増加。
- 運賃の増加により販売費及び一般管理費が増加。

(単位：百万円)



連結貸借対照表 (BS)

- 売上高増加に伴い、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加。

(単位：百万円)

資産の部	2026年3月末	構成比率	2026年6月末	構成比率	増減
流動資産	36,925	77.6%	40,006	78.2%	+3,080
現金及び預金	7,670	16.1%	8,094	15.8%	+424
受取手形及び売掛金 (含 電子記録債権)	16,475	34.6%	18,393	36.0%	+1,918
棚卸資産	12,531	26.3%	13,262	25.9%	+730
その他流動資産	248	0.5%	255	0.5%	+7
固定資産	10,638	22.4%	11,127	21.8%	+488
有形固定資産	6,518	13.7%	6,752	13.2%	+234
無形固定資産	1,346	2.8%	1,323	2.6%	△23
投資その他の資産	2,774	5.8%	3,051	6.0%	+277
資産合計	47,564	100.0%	51,133	100.0%	+3,568
負債及び純資産の部	2026年3月末	構成比率	2026年6月末	構成比率	増減
流動負債	21,959	46.2%	24,838	48.6%	+2,878
買掛金 (含 電子記録債務)	18,988	39.9%	21,528	42.1%	+2,540
未払費用	1,004	2.1%	1,769	3.5%	+765
未払法人税等	656	1.4%	497	1.0%	△158
その他流動負債	1,310	2.8%	1,041	2.0%	△268
固定負債	139	0.3%	122	0.2%	△16
負債合計	22,098	46.5%	24,960	48.8%	+2,861
純資産	25,465	53.5%	26,172	51.2%	+707
負債純資産合計	47,564	100.0%	51,133	100.0%	+3,568

流動資産 +3,080百万円

- 売上高増加により、現金及び預金、売上債権、棚卸資産が増加

固定資産 +488百万円

- 埼玉第二工場の新設・工事費用などにより有形固定資産が増加。
- 投資有価証券の時価評価上昇

流動負債 +2,878百万円

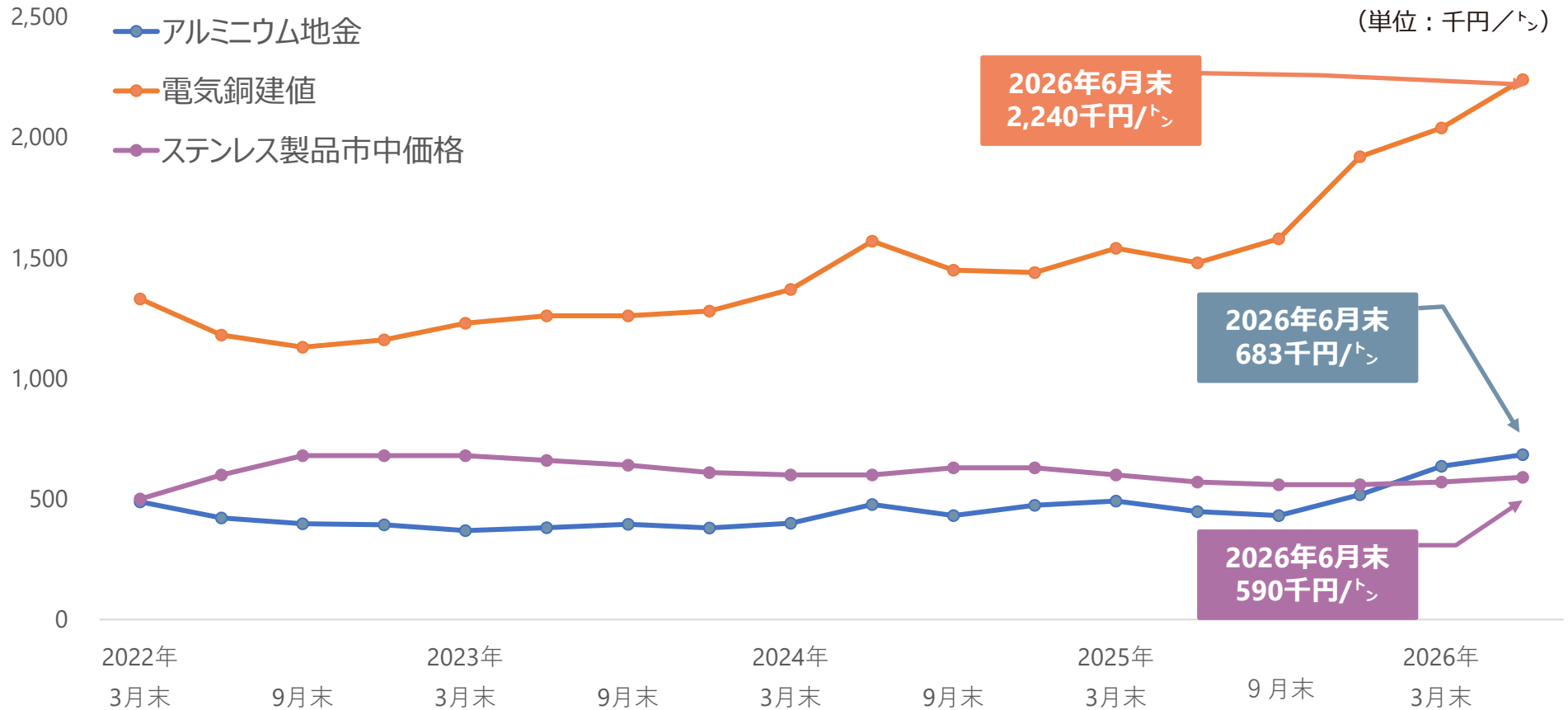
- 販売量増加に伴う買掛金の増加

固定負債 △16百万円

純資産 +707百万円

事業環境（1） アルミニウム・銅・ステンレスの原材料市況

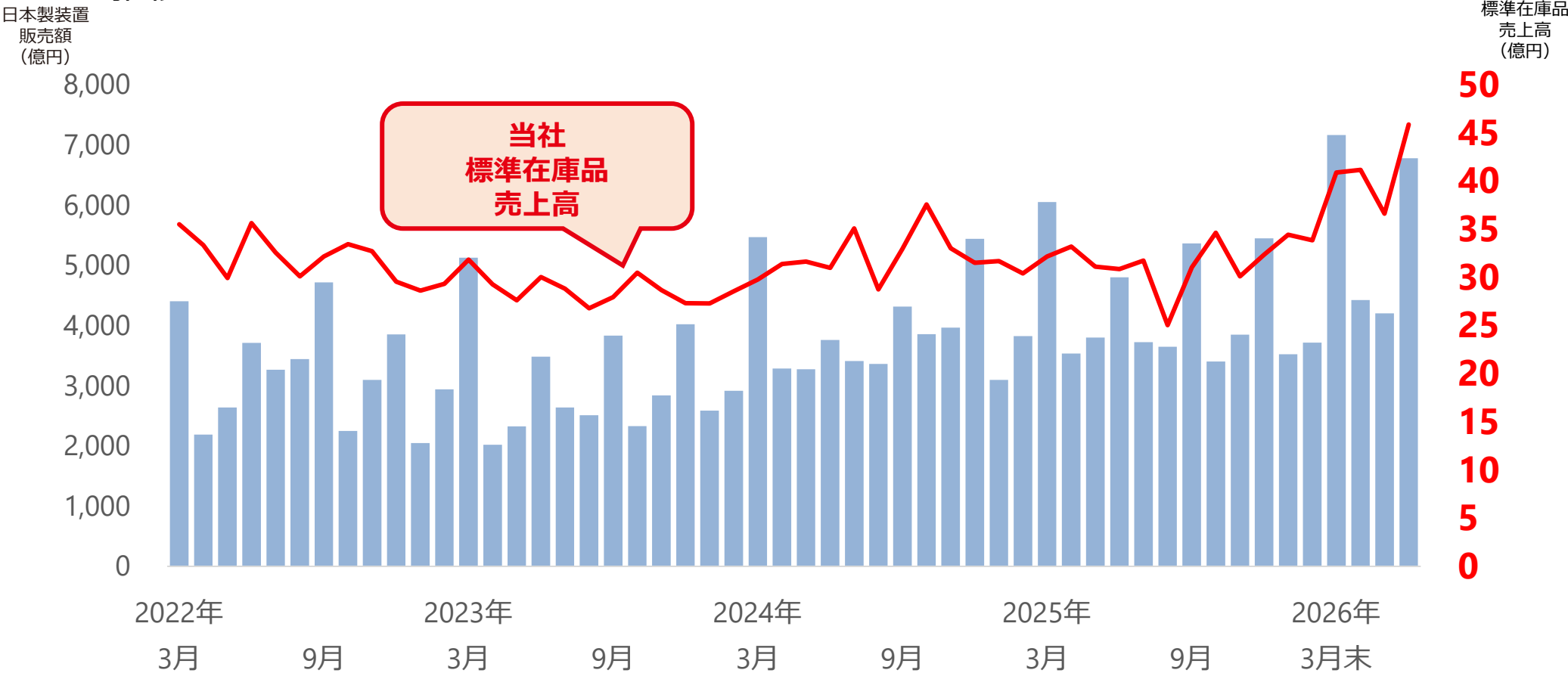
- アルミ価格は米国のイラン攻撃をきっかけにアルミ地金の供給懸念が高まり、国際価格が上昇したことなどが要因で、高値を継続。
- 電気銅建値は、円安傾向が継続していること、供給網の不安定化などから2025年6月以降上昇傾向。
- ステンレス製品市中価格は引き続き横ばいに推移。



電気銅建値：JX金属による算出 ステンレス鋼板：鉄鋼新聞月別中心値
 アルミニウム地金：日本経済新聞月別平均値

事業環境（2）半導体製造装置販売額と標準在庫品売上高との比較

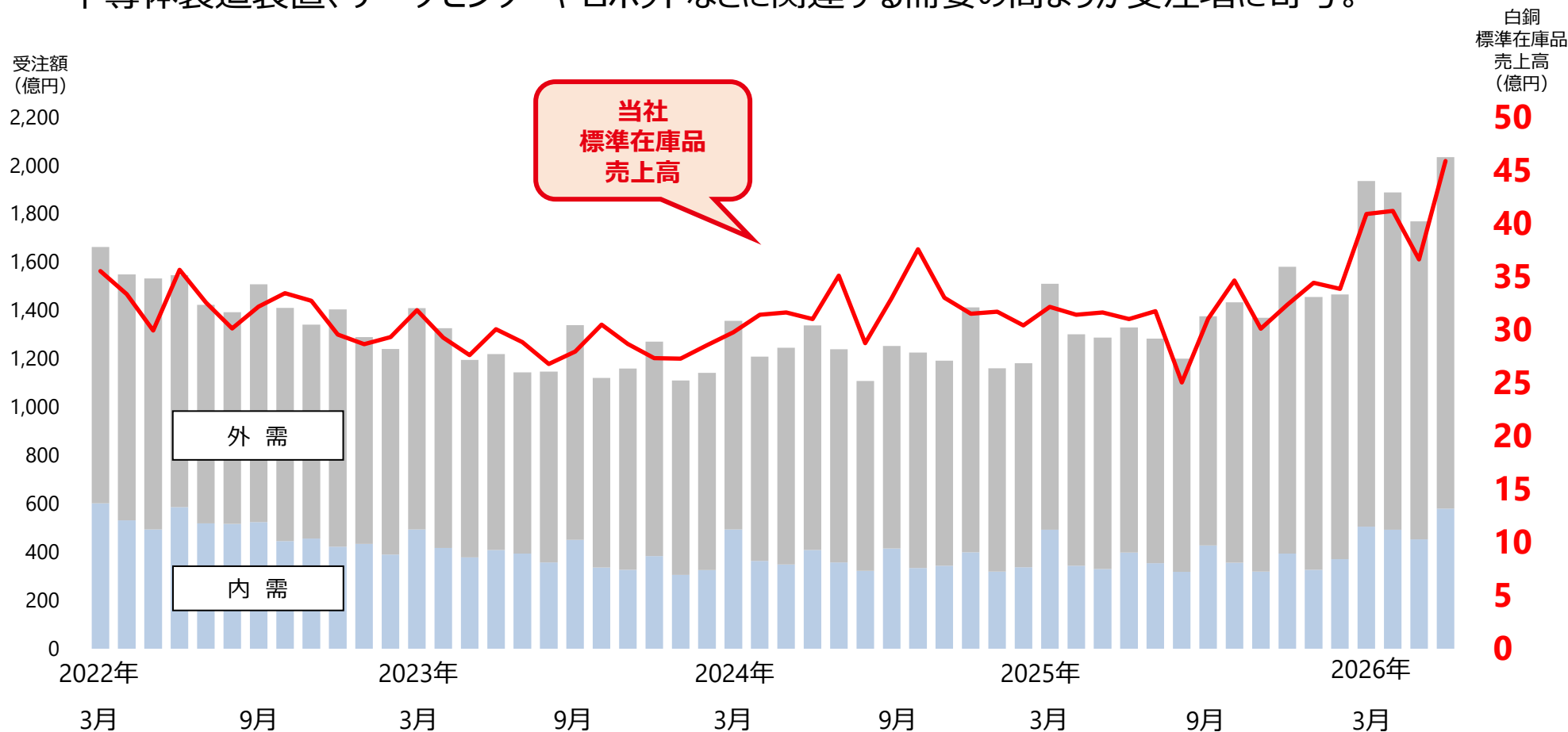
- 半導体製造装置業界については、生成AI市場の拡大を背景にデータセンター向けの先端ロジック半導体ならびにメモリーの増産投資が急増していることから、半導体向けの設備投資は高い水準で推移。



出典：日本半導体製造装置協会 統計データ

事業環境（3） 工作機械受注額と標準在庫品売上高との比較

- 受注額は前年1Q期間(4~6月)比で内需42.4%増加、外需46.3%増加と国内受注、海外受注ともに好調に推移。
- 半導体製造装置、データセンターやロボットなどに関連する需要の高まりが受注増に寄与。



出典：日本工作機械工業会 工作機械統計

2. 2027年3月期 業績予想

2027年3月期 業績予想の上方修正

- 前連結会計年度後半以降、半導体向けの設備投資が活発化し、第1四半期の経常利益は過去最高を更新。世界的な半導体需要の増加が期初の想定を上回っており、今後も堅調な需要の継続を見込む。
- 上記に加えて足下の原材料相場の堅調な推移も勘案し、2027年3月期の業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

	2027年3月期 中間期				2027年3月期 通期			
	前回発表予想	今回修正予想	増減率	(ご参考) 前期実績	前回発表予想	今回修正予想	増減率	(ご参考) 前期実績
売上高	41,000	44,600	+8.8%	32,699	84,000	92,200	+9.8%	68,109
営業利益	2,080	2,700	+29.8%	1,005	4,310	5,060	+17.4%	2,872
経常利益	2,310	2,700	+16.9%	1,087	4,700	5,190	+10.4%	3,190
棚卸資産影響額 *1 *2	181	669	-	85	181	669	-	411
経常利益 (棚卸資産影響額を除く) *3	2,129	2,031	-	1,001	4,519	4,521	-	2,778
親会社株主に帰属する 当期(中間) 純利益	1,590	1,870	+17.6%	683	3,210	3,590	+11.8%	2,146

*1 期初発表時の原材料市況の予測は2027年3月期第1四半期までの影響を算入。

*2 今回修正予想の原材料市況の予測は2027年3月期第2四半期までの影響を算入。

*3 経常利益(棚卸資産影響額を除く)には、棚卸資産影響額の差益分の賞与増加を含む

あたらしい、を、素材から。



株主還元策（配当実績と予想）

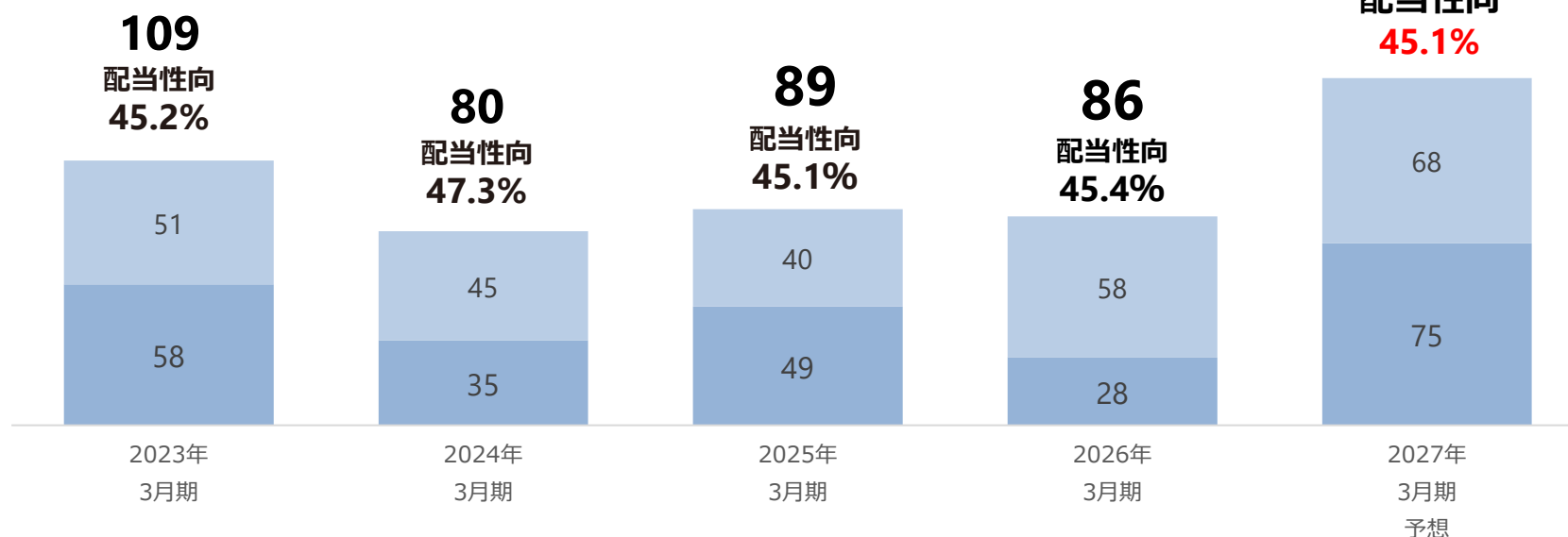
- 通期業績上方修正を踏まえ、中間配当は期初予想の1株あたり64円から11円増配の75円、年間配当は期初予想の1株あたり128円から15円増配の143円に変更。

2027年3月期 配当予想

配当方針

- ・通期配当性向45%以上
- ・年間最低配当額80円
- 原則、いずれか高い金額を配当額とする。

(単位：円)



下段 ■ が中間配当、上段 ■ が期末配当を示す。

3. 重点戦略の実施状況

重点戦略の実施状況

(1) 白銅ネットサービスの進化による顧客基盤の強化・拡大と利益率の向上

当社標準在庫品
約**5,800**アイテム
+
他社在庫品(取寄せ)
約**296,000**アイテム

※2026年6月末時点

ご利用企業様数
約**15,000**社様
ご登録ユーザー様数
約**31,000**名様

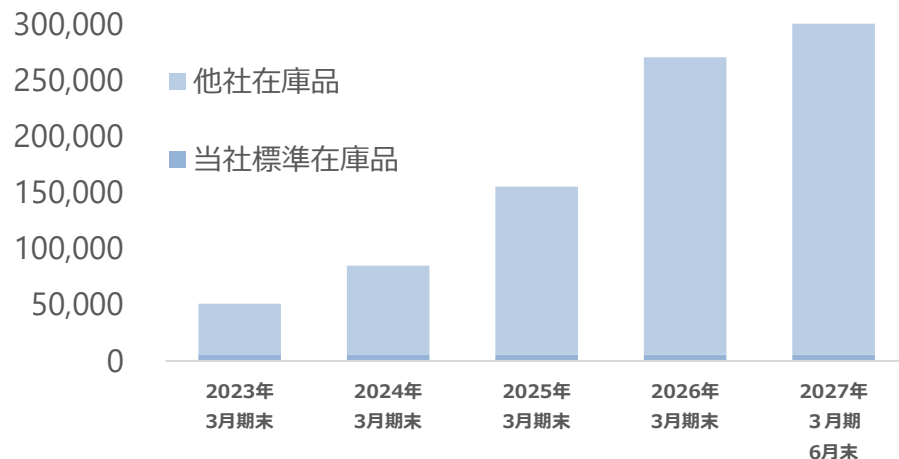
※CSネットサービスの登録件数を含む
※2026年6月末時点

画面リニューアル
& 新機能追加

使いやすさ改善と
図面加工品の
見積・注文機能強化

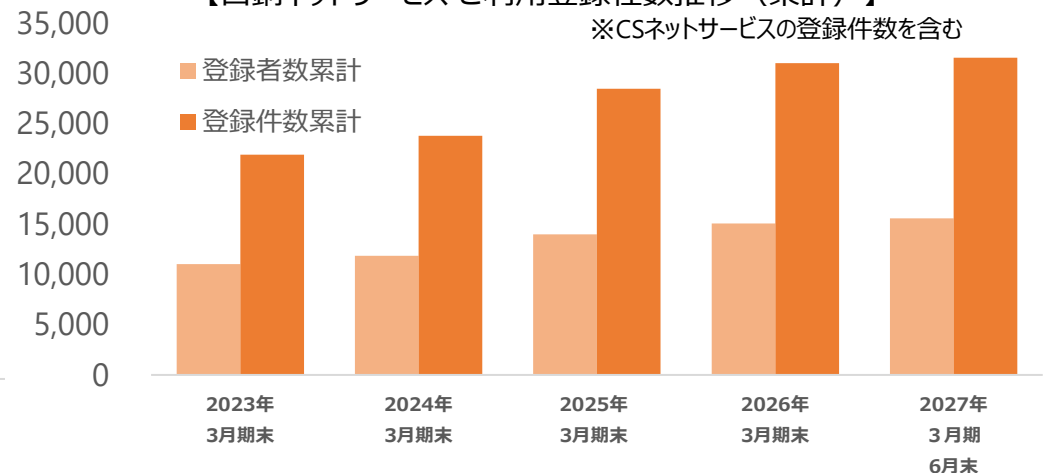


【白銅ネットサービス ご利用可能アイテム数】



【白銅ネットサービス ご利用登録社数推移（累計）】

※CSネットサービスの登録件数を含む



重点戦略の実施状況

(2) 成長領域の拡大



専門部署による業界の集約

半導体関連の販売先を専門部署に集約し、業界ナレッジを蓄積する仕組みを構築



新規顧客獲得

金属3Dプリンターを契機に自動車関連の新規顧客を獲得し、他商材の拡販も展開

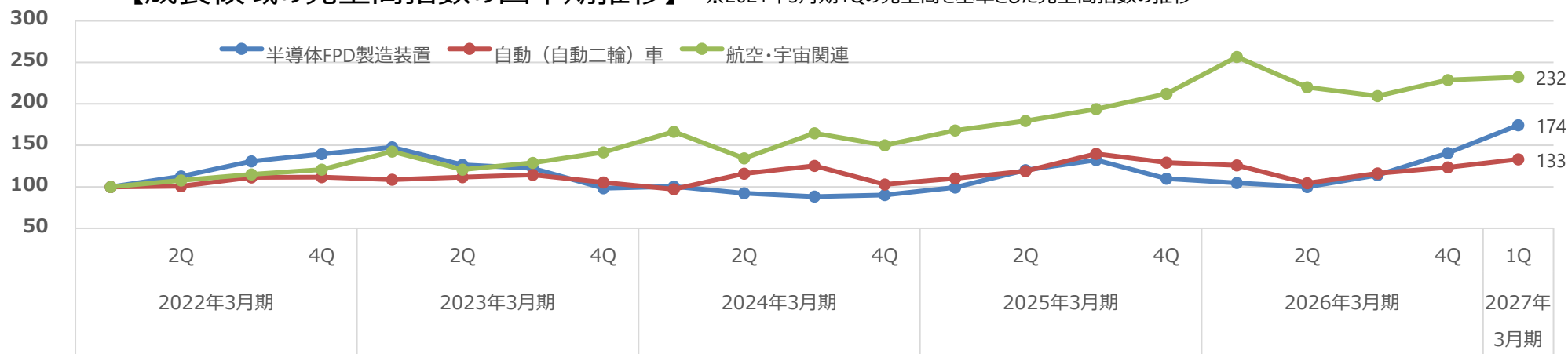


海外材輸入機能強化

WCAS社と連携し、海外メーカー製航空宇宙規格材の輸入機能を強化

【成長領域の売上高指数の四半期推移】

※2021年3月期1Qの売上高を基準とした売上高指数の推移

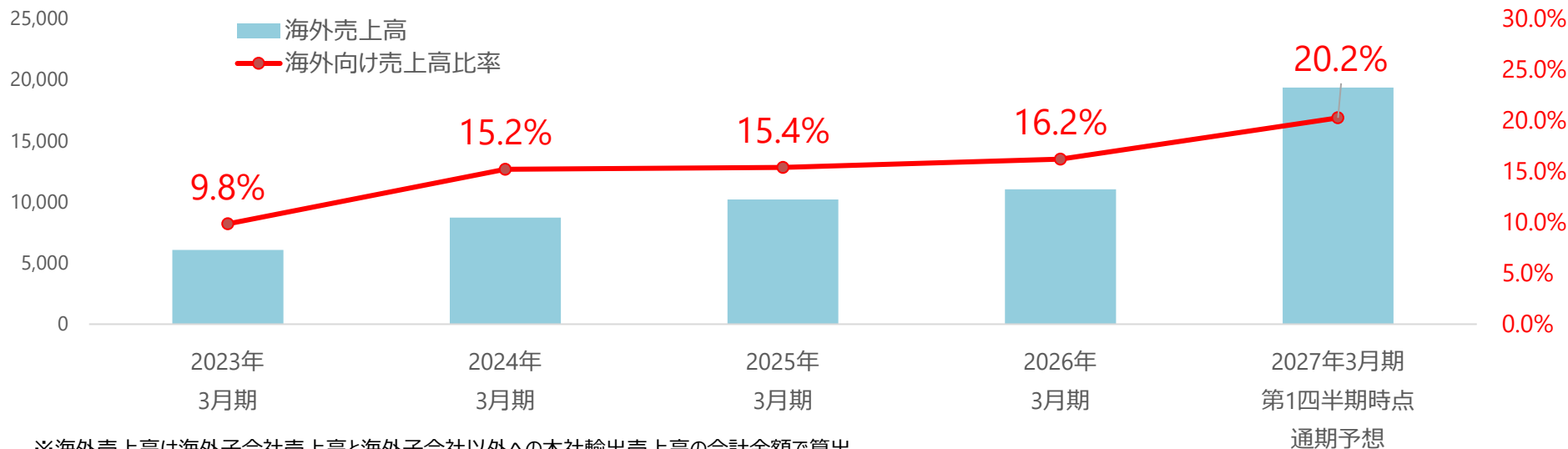


重点戦略の実施状況

(3) 海外事業の拡大

海外事業の売上高と海外売上高比率の推移

(単位：百万円)



※海外売上高は海外子会社売上高と海外子会社以外への本社輸出売上高の合計金額で算出

活動状況

◆ ECパッケージの活用

ベトナムの出資先でのECパッケージ導入準備を進行中。タイ、中国、米国は導入済み。
マレーシアやインドネシアの代理店での導入も検討中。
その他、韓国・台湾・インド・フィリピンなどにもECパッケージによる販売を計画中。

◆ 事業の拡大

インドでセールスパートナー1社と契約を締結し、市場調査を開始。
その他、韓国・台湾・フィリピン等での販売も進めている。

ご清聴ありがとうございました

■白銅公式SNSアカウントについて

弊社では、YouTube、Instagramの公式アカウントを開設し、商品紹介や展示会の出展案内などのお役立ち情報を定期的に発信しております。右記のQRコードから、是非、お友だち追加をお願いします！

■本資料における注意事項

この資料には、2026年8月現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

■お問合せ先

白銅株式会社 経営企画課

メールアドレス：hkdkeiki@hakudo.co.jp

ホームページ：www.hakudo.co.jp



YouTube



Instagram